

地方会議（島根県出雲市）

1. 日時、場所

平成24年4月11日（水） 14時30分～16時40分
出雲商工会議所6階大ホール

2. 参加者

地元の若手・女性 of 中小企業経営者等 90名

3. 参加者の意見

（1）出された意見数（課題別）

全体意見数	22
資金調達	1
経営指導・経営支援	6
技術力・人材（技能承継等）	3
取引関係（下請取引・流通構造等）	0
販路開拓（海外展開等）	1
若手・青年層の活力発揮	3
女性層の活力発揮	1
「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）	4
その他	3

（2）主な意見

【資金調達】

- ・ 農業等異業種への参入は非常に時間がかかる。今の融資制度ではスパンが短すぎるので、例えば10年以上の長期にわたる制度等も考えてほしい。

【経営指導・経営支援】

- ・ 支援メニューは揃っていると思うが、窓口が多くてよくわからない。窓口が違う場合、省庁を超えて他の窓口を紹介するなどの対応をしてほしい。
- ・ 立ち上げ時の支援制度は手厚いが、その後業績が苦しくなった時の活用施策が弱い。
- ・ ネットワーク事業を活用しているが、使い勝手がよいので、継続を望む。

【技術力・人材（技能承継等）】

- ・ 経営手法を学べるセミナーはあるが、経営者のマインド（心構え）を変える

ような場が少ないので、そのような支援があるとよい。

- ・ 補助金だけではなく、例えば若手を雇用する企業には認定証を出して企業価値を高めるような制度もあってよいのでは。
- ・ 新規採用は大変難しいので、現社員の人材育成も支援してほしい。

【販路開拓（海外展開等）】

- ・ 小さい会社は先ず出向いて行って商品を知ってもらうことから始めないといけないが、移動費や宿泊費等が負担。ソフト面の支援を充実してほしい。

【若手・青年層の活力発揮】

- ・ 経営者自身が自主性を発揮して自分のビジョンを示すことが重要。また、若い経営者にとっては、地域に学びの場や、切磋琢磨できる場があるかが重要。
- ・ 今後を担う若い世代に元気がない。商工会連合会や商工会議所の青年部等と連携して取り組むことが必要。
- ・ 家族経営のようなところでは、若手が親の世代に押しつぶされて十分に活躍できていないという現状がある。若手側の自覚も必要であるが、金銭的なものだけでなく、こういうところにも課題があるといことを国や県に目を向けてほしい。

【女性層の活力発揮】

- ・ 零細企業ではまだまだ女性は社外に出さないという意識が強い。女性の社会進出を後押しするきめ細かい支援が必要。

【「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）】

- ・ 昨秋以降、競争激化により2つの地場ショッピングセンターが破綻した。買い場の喪失や商店街回帰についての支援が急務。
- ・ 「地産地消」という言葉があるが、「地売」も必要。地域のお金を地域で回す保護政策を国策で考えてほしい。
- ・ 商店街支援には計画認定が必要なメニューもある。若手が計画案を作っても協議会でまとめられないと結局進まないなので、要件を緩和してほしい。

【その他】

- ・ 地域の中小企業の強みをグローバルスタンダードに繋げていくことが重要であるが、ISO取得やその後の維持等についての取組は地方の中小企業や地方の行政機関だけでできることではないので、国にもしっかりとバックアップしてもらいたい。